

薬事エキスパート研修会・特別コース
2012年度 「薬害教育」基礎研修講座

主 催	一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
後 援	日本製薬団体連合会 日本製薬工業協会 社団法人東京医薬品工業協会 大阪医薬品協会 日本 OTC 医薬品協会 日本ジェネリック製薬協会 公益財団法人 MR 認定センター
	米国研究製薬工業協会(PhRMA) 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan) 日本 CRO 協会 社団法人日本医薬品卸業連合会 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 日本医療機器産業連合会

【研修会趣旨】

「医薬品」は、いうまでもなく、効果と副作用のバランスの上に成立するものであり、副作用のないものは存在しません。使い方によっては、その有効性より、有害作用が強く現われることがあり、これまでも「薬害」という社会的関心と呼んだ大規模な健康被害事例を数多く経験してきました。

当財団では、かねてより、社会的に大きな問題を引き起こした「薬害」及びそこから得られた教訓を、社会的財産として記録、整理、分析するとともに、その教訓が如何に現在の薬事制度に活かされてきたかについて明らかにする作業を進めております。一昨年、昨年と、「薬害教育」基礎研修講座を開催したところ、大変好評であったことから、今年度も、引き続き、『2012年度「薬害教育」基礎研修講座』を開催することと致しました。

本講座は、戦後の代表的な薬害事件について、主として被害者の方々からの「生」の声を聴くことにより、医薬品を創製、製造、使用し、さらには承認する関係者にとり、個々の薬害事件の経緯、なぜ防止できなかったのか、得られた再発防止に向けた教訓は何か、教訓は現在の薬事制度に如何に活かされてきたか、薬害問題を今後の安全対策に生かすための課題は何か等について、系統的に研修する機会を設けました。製薬企業等関係者、医療関係者、アカデミア、教育関係者、行政当局等、幅広い関係各位のご参加をいただき、今後の医薬品等に関連したリスク最小化のための管理に活かしていただきますようお願い申し上げます。

【日程及び場所】

日 程	場 所
平成24年11月27日(火)～28日(水)	日本薬学会 長井記念ホール 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 Tel. 03-3406-3326

会場地図は財団ホームページ(<http://www.pmrj.jp>)をご覧ください

【対象者】

製薬企業・医療機器企業の安全性業務担当者、医療関係者、教育関係者、行政関係者、一般の方で薬害教育に関心をお持ちの方。

【募集人員】200名

薬事エキスパート研修会・特別コース
2012年度「薬害教育」基礎研修講座
(受付開始予定 9:00)

【内容及びスケジュール】

日程	時間	講義内容	講師
11月27日(火)	9:30～9:35	開講の挨拶	寺尾 允男 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団会長)
	9:35～10:00	第1講：戦後の医薬品や医療機器が関連した健康被害事件の概要	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)
	10:00～10:50	第2講：ジフテリア予防接種禍事件	田井中 克人 (京都・島根ジフテリア予防接種禍事件 研究会事務局長)
	10:50～11:00	休 憩	
	11:00～11:50	第3講：「薬害エイズ」の教訓	花井 十伍 (ネットワーク医療と人権理事)
	11:50～13:00	休 憩(昼 食)	
	13:00～13:50	第4講：キノホルム事件(スモン)	辻川 郁子 (スモンの会全国連絡協議会事務局長)
	13:50～14:00	休 憩	
	14:00～14:20	第5講：ダイアライザー事件	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)
	14:20～15:10	第6講：筋肉注射による大腿四頭筋拘縮症	小田 美也子 (薬害筋短縮症の会)
	15:10～15:20	休 憩	
	15:20～16:10	第7講：サリドマイドを生きる	増山 ゆかり (財)いしずえ 事業部長)
	16:10～16:20	休 憩	
	16:20～17:10	第8講：陣痛促進剤による被害	勝村 久司 (財)日本医療機能評価機構産科医療 補償制度再発防止委員)
11月28日(水)	9:30～10:20	第9講：欧米における医薬品や医療機器が関係した主な健康被害事件	木村 暁 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団参事)
	10:20～10:30	休 憩	
	10:30～11:20	第10講：C型肝炎事件とその後	泉 祐子 (薬害肝炎全国原告団、(独)医薬品医療 機器総合機構運営評議会委員)
	11:20～11:50	第11講：ソリブジン事件	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)
	11:50～13:00	休 憩(昼 食)	
	13:00～13:50	第12講：MMR ワクチン薬害事件	栗原 敦 (独)医薬品医療機器総合機構救済業務 委員会委員、MMR被害児を救援する会 事務局長)
	13:50～14:00	休 憩	
	14:00～14:50	第13講：薬害ヤコブ病	中野 裕子 (薬害ヤコブ病東京原告の会)
	14:50～15:10	休 憩	
	15:10～15:40	第14講：イレッサ事件	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)
15:40～16:30	第15講：過去の薬害事件の教訓は如何に薬事制度に活かされたか	土井 脩 (医薬品医療機器 レギュラトリーサイエンス財団理事長)	

* 演題、講師、時間、会場等一部変更する場合がありますので、予めご了承ください。

(敬称略)

* 最終日の午前9:00から受講証明書をお渡し致します。

【申込要領】

1. 申込方法

=オンライン=

受講希望の方は財団ホームページより申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ (<http://www.pmri.jp>) 研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

2. 受講料(消費税込): テキスト代を含みます。

- ・法人会員 1名につき 30,000円

(法人会員は1口につき4名が会員扱い)

- ・個人会員/非会員 1名につき 45,000円
- ・アカデミア/医療関係者/教育関係者 1名につき 13,500円

なお受講者の方は、以下の書籍を特別価格でご購入頂けます。ご希望の方は、申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。

- 知っておきたい薬害の知識 一薬による健康被害を防ぐために— 1,700円
- 知っておきたい薬害の教訓 一再発防止を願う被害者からの声— 2,300円

3. 注意事項

- * 振込依頼書のご依頼人欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- * 参加申込後1週間以内にお振込みください。
- * オンラインでの参加申込は研修会開催日の10日前までとなります。それ以降のお申込みはお電話でお問い合わせください。
- * 事前に申込み、受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAXでの受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- * 現金送金をご遠慮願います。
- * 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- * お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- * 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。
- * 申込み後の受講者の変更は可能です。

4. 問合せ先

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15
一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
電話 03-3400-5644(薬事エキスパート研修会担当)
FAX: 03-3400-3158
URL: <http://www.pmri.jp>